



千一ムカ合

～学校教育目標～

「気づき 考え 進んで行動する子どもの育成」



カ合小学校だより NO.4

令和4年5月12日

児童数:529名

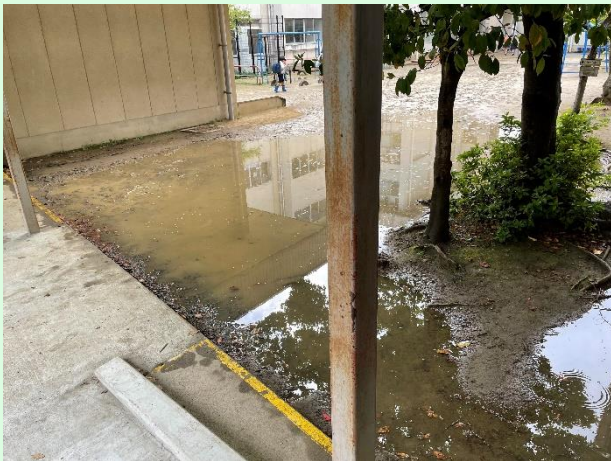
文責:校長 馬場康弘

楽しかった歓迎遠足

4月28日(金)に「歓迎遠足」を行いました。今回も刈草公園へ二学年合同で行ってきました。滞在時間はそれぞれ約1時間弱でしたが、青空の下、子どもたちは元気いっぱい体を動かし、楽しんでいました。また、遠足に先立ち「1年生を迎える会」をオンラインで行いました。各学年の発表がありましたが、どの学年もとても趣向を凝らし、やさしさあふれる内容でした。1年生もきっと喜んでくれたことでしょう。子どもたちも職員も笑顔が絶えないステキな1日でした。



水たまりができます



上の写真は、連休前に降った雨が上がった後の児童玄関付近の様子です。ここは、これまでの工事で重機等が入り、地面が踏み固められ、水はけが悪くなってしまった箇所です。しかし、今回は昨年度以上に水が溜まっていたので、教育委員会に依頼し、見に来ていただきました。すると、年度末にスロープの工事が行われましたが、排水機能が

不十分だと説明があり、今後地盤工事が必要と説明がありました。ただ、本格的に工事が始まるのが、梅雨明け頃ということでした。それで、



応急措置として、左の写真のように板を敷いています。これから梅雨を控えています。雨の降り方によっては長靴を履く

のもいいかと思います。(ただ、途中で天気が回復し、水はけのよい運動場で体育がある場合は不自由になりますが・・・)

また、風雨が強い場合の登下校が心配です。傘のみだと風にあおられ傘が破損し、低学年だと転倒する危険性もあります。それで、雨合羽を着用するのもいいかと思います。(ただ、学校には雨合羽を干しておくスペースがありませんので、濡れたままケース等に入れて保管することになりますが・・・) 悩ましいところです。

5月12日は民生委員の日!

日頃より、民生委員・児童委員の皆様方には、本校教育に多大なご尽力をいただいております。そして、本日12日は「民生委員の日」ということで、雨天にもかかわらず朝から正門であいさつ運動を行っていただきました。登校して来る児童はいつもと違う雰囲気戸惑いながらも、民生委員の方々とあいさつを交わしていました。子どもたちにとっても貴重な経験にな



りました。民生委員・児童委員の皆様、これからも、地域の宝である子どもたちのことをどうぞよろしくお願いいたします。

5月全校朝会 校長講話

5月10日

テーマ：「あいさつ」と「ありがとう」

みなさん、おはようございます。

5月の連休が終わりました。大きな事故やケガの報告もなく、みなさんが安全に過ごせたことが、校長先生が一番うれしいです。また今日から気持ちを新たに、学校生活のリズムを早めに取り戻していきましょうね。

さて、新学期になって1か月程過ぎました。新しい学級・学年にも慣れてきましたか？ 人との出会いもたくさんあったことでしょう。私たちは多くの人と関わりながら生きています。その時、人とうまく過ごしていく方法はいくつかありますが、その中でも「あいさつ」が一番大事なかと校長先生は思っています。あいさつについては、昨年度「力合小学校のあいさつ」として、「あ（あかるく）、い（いつでも）、さ（さきに）、つ（つづけて）」についてお話をしました。2年生以上の人は覚えていますか？今年度もぜひ取り組んでほしいと思いますが、その中でも特に、さ（さきに）を頑張してほしいと思います。「先取りあい

さつ」とも言います。相手の人より先にあいさつをするためには、相手より先に気づかなければできません。ただ、せっかく先に「気づいて」も、あいさつをしようと「考え」「行動」しなければあいさつにはなりません。ここでも「気づき」「考え」「進んで行動する力」が必要なのです。そして、よりレベルアップを目指すには、もし、相手から先にあいさつをされたら、「相手の人と同じ大きさの声であいさつを返す」ことは大切なマナーです。この時笑顔があると、もうあいさつの名人ですね。相手の人のあいさつの声が聞こえなかったらしょうがないですが、決して無視することがないようにお互い注意していきましょうね。

また、人とうまく過ごしていくための感謝の言葉として、「〇〇〇〇」がとても大切だと思います。〇に入る言葉は何だと思いますか？そうですね。「ありがとう」です。たった5文字ですが、すごい力を持った言葉です。皆さんの中にはこんな人がいます。すばらしいことですから紹介しておきますね。

校長室の掃除に毎日2人の6年生が来てくれています。無言掃除で部屋の隅々まで掃除をしてくれます。そして、いつもそうじが終わって校長室を出ていくときに、「ありがとうございました。」と言ってくれます。本当だったら、そうじをしてもらった校長先生が「ありがとうございました」と言う側なのに、その6年生は毎日言ってくれます。それ以来、「とても感じのいい子だな。」「またこちらから話しかけたいな。」と校長先生は思うようになりました。「ありがとう」と言われて気持ちが悪くなる人はいないと思います。みなさんも「ありがとう」という言葉を遠慮することなくどんどん使ってみませんか。

若葉の緑がまぶしいこのさわやかな5月。「気持ちのよいあいさつ」と「ありがとう」の言葉がたくさん飛び交う力合小学校になればいいなと思っています。

